

# 第16回 スポーツ会館小学生スーパードッジボール大会 競技規則

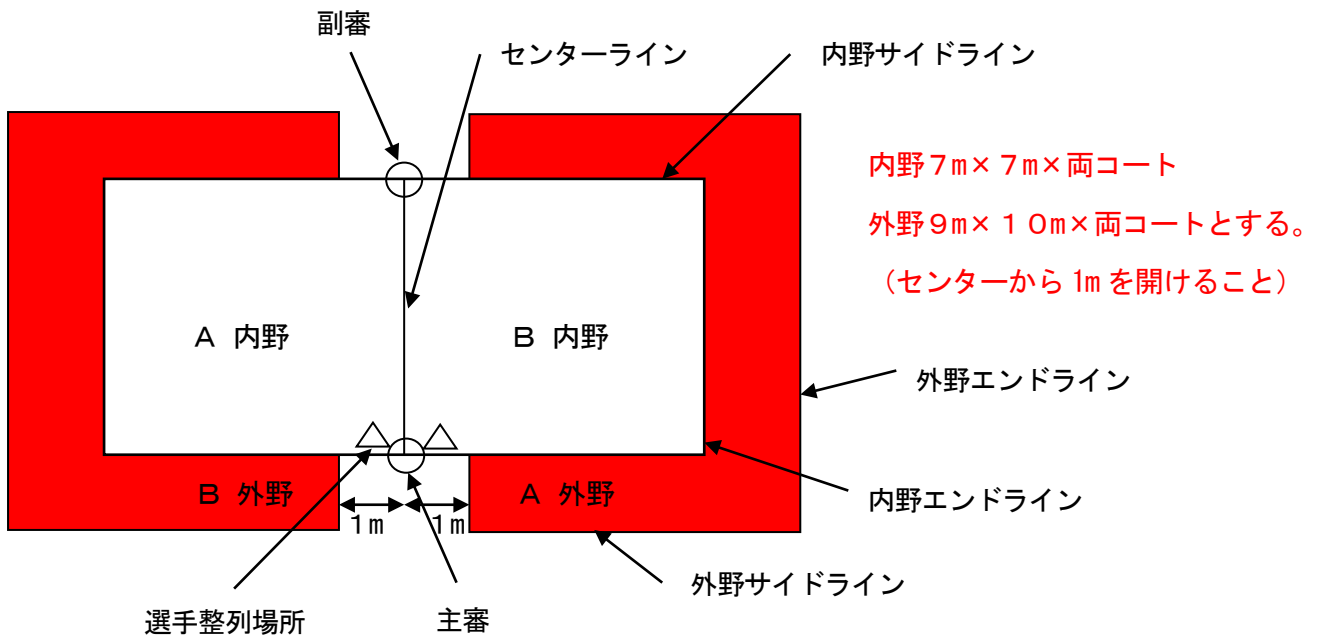
(第17回 小学生スーパードッジボールKOTOチャンピオンズリーグ予選会)

## 【競技規則】

### ● 第1章 競技場および用具

#### 第1条 競技場 (コート)

1. 内野の大きさ 7m×14m
2. 外野の広さ サイドは、1.5mとする。  
エンドは、3mとする。
3. 線の幅 5cmとし、上記の長さは線の中心から中心までの距離とする。



#### 第2条 用具

1. 試合球は日本ドッジボール協会公認3号球 (公式試合球) を使用する。  
モルテン D3C5000-L
2. ユニホームは、同一チームであることが識別できる服装とし、ゲームベストを着用する。  
なお、上履きは各自で用意する。(ゲームベストは、大会本部で用意する。)

### ● 第2章 チーム編成

#### 第3条 競技チーム

1. チームは、同学校、同学年の競技者8名以上15名以下の男女混合で編成し、必ず各試合に登録メンバー全員を出場させることとする。また、試合 (前半・後半) には、必ず1名以上の女子を参加させること。
2. 競技のスタートメンバーは8名 (内野5名・外野3名) とする。
3. 競技開始時に5名以下のチームまたは、女子のいないチームは失格となる。
4. 競技者のうち1名をキャプテンとし、キャプテンはキャプテンマーク (リストバンド) を着ける。

### ● 第3章 競技方法

#### 第4条 競技方法

## 1. 競技開始

- (1) 競技は、チーム対抗形式で、1チーム8名の競技者がコートの中に入って行う。
- (2) 両チームは、センターラインをはさんで並び、挨拶を行う。
- (3) 競技は、主審の「ゴーフアイト」の宣言で開始される。

## 2. 競技時間および競技終了

- (1) 競技時間は、前半5分・ハーフタイム1分・後半5分とする。
- (2) 競技時間内であっても、一方のチーム全員がヒットされた時は、ノックアウトになり競技終了となる。
- (3) 主審が特別に時間を止めない限り、どんな時でも競技時間は進行している。
- (4) 主審の「ゲームセット」の宣言で競技は終了する。

## 3. 競技

- (1) センターラインでのジャンプボールによって、試合は開始される。その際、ジャンパーへの第1球攻撃は行ってはならない。(ジャンパーズアタックの禁止)
- (2) ジャンパーは内野の競技者がつとめ、自分のコートで行い、自分の内野へとスする。
- (3) ジャンパーはジャンパー以外の競技者がボールに触れる前にボールを捕球してはならない。(ジャンパーズキャッチの禁止)
- (4) 競技の目的は、相手チームの競技者を全員ヒットすることにある。
- (5) ヒットとは、相手チームの内野にノーバウンドのボールを当てそのボールが地に着くまでに相手の内野の誰もが捕球できない状態をいう。
- (6) 複数の内野に当たったり、触れたりしたボールを捕球できなかった場合は、そのボールに当たり触れた内野全員がヒットされたこととなる。
- (7) 捕球とは、一時的ではなく、完全にボールをキャッチし、コントロールしている状態をいう。
- (8) ヒットされた内野は、速やかにゲームベストを脱いで外野へ行かなくてはならない。その際、外野に出るまでにボールに触れてはならない。(ダブルタッチの禁止)
- (9) **競技者がヒットされた場合、ゲームベストを着けている元外野の競技者は速やかに内野に入らなければならない。なお、この内野に移動中の競技者にヒットしてはならない。**
- (10) 味方同士のパス回しは20秒以内とする。20秒を超えるパス回しはオーバータイムの反則となる。
- (11) ラインクロスとラインオーバーは、いずれもラインアウトの反則となる。なお、ラインクロスとラインオーバーは、一連の投球動作が終了するまでとする。
- (12) 両外野エリアより外に出てしまったボールは、最後にボールに触れた競技者の相手チームの内野ボールとなる。
- (13) メンバー交代は、ハーフタイムにのみ行うことができる。ただし、けが等により主審が認めたときは、途中交代もできる。
- (14) 危険防止のため、首から上に投げられたボール（パスボールは除く）はヒットにならない。(ヘッドアタックの禁止) なお、ヘッドアタックの反則は、主審の判断による。
- (15) ボールを捕球してから5秒以内に投げなければいけない。5秒を超えるボール保持は、オーバータイムの反則となる。
- (16) ボールデッドは、ボールがコート外の床についた時点とする。

## 4. 反則

- (1) オーバータイムを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (2) ラインアウトを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (3) ダブルタッチを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (4) ヘッドアタックを宣告されるとヒットされた競技者はセーフになり、そのチームの内野ボールなる。

- (5)ジャンパーズアタック・ジャンパーズキャッチを宣告されると相手内野ボールとなる。
- (6)故意のキックやヘディングなどによるプレーは、相手内野ボールとなる。
- (7)スポーツマンシップに反する行為は、相手内野ボールとなる。

#### 5. 注意

- (1)競技者とキャプテンは、競技マナーに反する行為があったときは、注意を受けることがある。
- (2)競技者が、軍手の着用や過剰なテーピング等、ボールを投げたり捕ったりする時に有利になることを行うことは認めない。

### ● 第4章 勝敗の決定

#### 第5条 勝敗の決定

##### 1. ゲームの勝敗

- (1)前・後半ごとの試合時間内に、相手選手を全員ヒットしたとき。
- (2)前・後半ごとの試合終了時に、ゲームベストを着用している選手を数え、ゲームベストを着用している選手が多いチームが勝ち。(前・後半のゲームベストのトータルで勝ち負けを決定。前・後半ごとの勝敗は関係しない。)

##### 2. 予選・決勝の勝敗

- (1)予選・決勝ともに勝ち点制とし、ゲームに勝つと勝ち点3、引き分けると勝ち点1、負けると勝ち点0とする。勝ち点が多いチームが上位となる。
- (2)勝ち点と同数の時は、全試合のベスト着用数の差(自分のチームのベスト数-対戦チームのベスト数)が多いチームが上位となる。
- (3)勝ち点、全試合のベスト着用数の差も同数の場合

###### ① 2チームが同数の場合

- イ、当該リーグで勝ったチームが、上位となる。
- ロ、当該リーグで引き分けの時は、3分間の決定戦を行う。

###### ② 3チーム以上が同数の場合

- ハ、当該リーグ全試合の相手チームの残りベスト数の合計が少ないチームが上位となる。(相手をヒットした数が多いチームが上位となる。)
- ニ、上記ハも同数の時は、当該リーグ全試合の自チームの残りベスト数の合計が多いチームが上位となる。
- ホ、上記ハ・ニの方法でも勝敗がつかない場合は、総当たりで3分間の決定戦を行う。

###### ③ 3分間の決定戦でもベスト数が同じ場合、3分間の決定戦終了時のまま試合を継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。(サドンデス式)

なお、決定戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

- (4)トーナメント戦で、前・後半のゲームベストが同数で引き分けの場合、3分間のみの延長戦を行う。3分間の延長戦でもベスト数が同じ場合、延長戦終了時のままゲームを継続し、先に相手をヒットしたチームを勝ちとする。(サドンデス式)

なお、延長戦のゲームスタート時メンバーは、女子1名以上を含みチーム内で再編成してもよい。

## ● 第5章 審判員

### 第6条 審判の任務と権限

#### 1. 審判員

- (1) 審判員は、主審1名・副審1名とする。コート係を置くことができる。
- (2) 審判員は、中立公平を旨として、それぞれ協力して試合の充実に努めなければならない。
- (3) 審判員は、試合進行について、事故のないように努めること。
- (4) 主審の立つ位置は、センターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。副審も主審と反対側の同じくセンターラインと内野サイドラインの交わる場所とする。

#### 2. 主審の任務と権限

- (1) 主審は、競技の進行と判定を行うため、ホイッスルを所持する。
- (2) 主審は、副審やコート係の補佐を受けながら、下記の任務を遂行する。
  - ① 正しく競技者が出場しているか確認する。
  - ② 「ゴーフアイト」「ゲームセット」の宣告をする。
  - ③ ジャンプボールを上げる。
  - ④ 「ヒット」を判定し、競技者に宣告する。
  - ⑤ 「相手ボール」を判定し、宣告する。
  - ⑥ 「反則」を判定し、宣告する。
  - ⑦ 「注意」を宣告する。
  - ⑧ 勝敗の判定を行い、宣告する。
  - ⑨ ブラインドプレーや判定に確信が持てないときなどには、副審に確認をしたうえで判定する。
  - ⑩ ヘッドアタックや怪我につながるプレーがあった場合は、ゲームを一時中断し、競技者の安全を確認する。
  - ⑪ 主審は、規則に明示されていないあらゆる問題に関して、判定を下す権限を持つ。

#### 3. 副審の任務と権限

- (1) 副審は、危険防止など特別の理由があるとき以外には競技を止めてはならない。
- (2) 副審は、ホイッスルを所持し主審を補佐しながら、下記の任務を遂行する。
  - ① ストップウォッチを所持し、オーバータイムや一時中断した時の時間の管理を行い、主審に伝える。
  - ② すべてのラインアウトを判定し、ホイッスルと動作によって主審に伝える。
- (3) 競技の進行や判定について、主審の求めに応じ助言する。
- (4) 主審に事故があるときは、これに代わる。

#### 4. コート係の任務

- (1) 試合をスムーズに進められるように主審・副審を補佐する。
- (2) ビブス係

ビブス係は、ヒットを宣告された競技者のビブスの脱ぎ忘れの確認と、元外野が速やかに内野に入る

よう誘導する。

(3) 外野係

外野係は、ボールの管理とピブス係の任務を兼任する。

● 第6章 競技の没収

第7条 競技の没収

1. 遅刻

指定場所へ指定時間までに集合しないチームに対しては、そのゲームを没収し相手チームの16対0の勝利とする。

2. 競技拒否

主審が競技を行うようチームに命じたにもかかわらず、これを拒んだときは、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

3. 不正出場

主審は、正当でない競技者が入っていると認めたとき、その競技を没収し、相手チームの16対0の勝利とする。

## 【チーム引率者の皆様への注意事項】

### 1 当日の受付・登録について

- ① 万が一、やむを得ない事情等で参加できなくなった場合は、早急にご連絡ください。当日連絡や連絡なしにキャンセルすることは絶対にないよう、よろしくお願いいたします。
- ② 受付は、2階エレベーターホールにて行います。必ずチーム引率者が行ってください。  
申込を終えた引率者とともに、3階大体育室へ移動していただきますようお願いいたします。引率者は、受付の際に引率者用のベンチ入り許可証をお渡ししますので、首にかけた状態で入場ください。
- ③ 選手控席は3階大体育室見学席になります。学校別に区分けしていますので各チーム譲り合って待機してください。
- ④ 受付時にメンバーの確認を行います。エントリー変更およびメンバーの追加は、受付時のみとなります。受付終了後の変更はできませんので、あらかじめご了承ください。  
試合開始までに、選手が5名以下の場合は失格となります。  
※当日止むを得ない事情で欠席し、選手が7名以下となってしまった場合は、当該チームは7名以下で試合に出場となりますが、1名以上の女子がいない場合は失格となります。
- ⑤ チャンピオンズリーグに参加できるのは、今大会に登録した選手のみとなります。  
追加登録はできません。選手の登録抹消を行う際にはご注意ください。

### 【当日】

- ① 9時より開会式を行います。なお、選手の受付開始後、保護者の方は3階大体育室の見学エリアへの入場が可能です。
- ② 試合は午前の部3年・4年生、午後の部5年・6年生の入替制で行います。
- ③ 開会式・閉会式並びに表彰式・記念撮影等の簡素化。(午後の部の開会式は行いません)
- ④ 選手招集の際はアナウンスをいたしますが、スケジュール表に従い、次の試合の選手を招集場所に開始5分前までに集合させてください。  
また、試合進行上、スケジュール表の時刻が前後することがあります。引率者が試合進行の確認をして下さい。
- ⑤ 施設内・試合中のマスク着用は任意とします。
- ⑥ 施設内に設置している消毒用アルコールで手指消毒を行ってください。

- ⑦ 参加児童は、清潔なハンカチ・ティッシュ・マスク・マスクを入れる際の清潔なビニールや布等を持参してください。
- ⑧ チーム内でタオルは共有しないでください。
- ⑨ 待機場所での飲食はできません。(水分補給は除く)
- ⑩ 引率者への協力について
  - ・病み上がり・体調不良気味・発熱症状のある方の引率はできません。
  - ・マスク着用は任意とします。

## 2 開催中の注意事項

- ① 大会当日に簡単なルール確認を行います。が、事前に競技規則をよく読み、十分に理解して試合に臨んでください。
- ② 貴重品はなるべく持参しないようにお願いします。持って来た場合は、引率者の方がまとめて管理してください。紛失・盗難等が起きた場合、当社は一切の責任を負いません。  
なお、1階受付前にセイフティボックスがありますので、合わせてご利用ください。(無料)
- ③ 3・4年生は9時30分、5・6年生は13時15分より試合を行います。スタッフの指示に従い移動してください。準備体操は開会式及び競技説明終了後に行います。※5・6年生の開会式は行いません。
- ④ 試合時間、試合コートの確認は、必ずチーム引率者が行ってください。なお、当日に変更がある場合がありますので、当日の進行表と対戦表の確認をお願いします。進行表と対戦表は、大体育室内に貼り出します。
- ⑤ チームの横断幕等は、会場内、ベンチ内は張り出しが出来ません。なお、試合中のコートサイド防球フェンスでの掲出は可能とします。ただし、床につくと選手が滑ったりして危険な為ご注意ください。
- ⑥ 応援する保護者の方は上履きをご用意ください。また、荷物の管理は各チームでお願いします。  
なお、ゲーム中にボールが飛んでくる可能性がありますので、十分注意して下さい。
- ⑦ 駐車場の混雑が予想されますので、公共の交通機関をご利用の上、ご来館ください。自転車で来館される場合には、係員の指示に従って駐輪してください。
- ⑧ 各自で出されたゴミは必ずお持ち帰りください。引率者および保護者の方々のご協力をお願いします。
- ⑨ 予選リーグ終了後、決勝リーグ・決勝トーナメントに進出できないチームは、自由解散となります。
- ⑩ 表彰式は各学年とも優勝・準優勝・3位のチームが対象となります。  
スタッフの指示に従って待機しててください。

なお、チャンピオンズリーグへ出場できるのは各学年上位2チームのみとなります。

- ⑪ 当日は、公社職員等の撮影が入りますのでご理解、ご協力をお願いします。

※当公社ホームページやX(旧 Twitter)、広報紙への掲載のため。

参加申込書に予選会での可否が入力されていますので、変更があれば訂正してください。

- ⑫ 試合中のメガネ着用につきましては、ケガ・破損等も予想されますので、各自安全には十分注意をして参加させてください。主催者としては、スポーツ専用メガネの着用を推奨いたします。

### 3 試合運営上の注意

- ① 試合中にケガをした場合は、主審の判断で交代を認めます。交代要員のいない場合は、ヒットして外野に出た選手をもう一度内野に戻します。また、ケガをした選手が次の試合に出場できなくなり、選手が7名以下となった場合は、当該チームは7名以下で試合に出場となりますが、1名以上の女子がいない場合は失格となります。

- ② 女子選手1名のみでの登録で、女子選手が試合中にケガをした際の競技判断について

・女子が1名で、男子の控え選手がいたとしても当該選手がケガで退場した場合は、男子の補充はせず7名で試合を続行します。また、前半にケガで退場し後半復帰ができない場合においても、男子の補充はせず7名で試合を行います。この場合チームの失格とはせず、勝敗は通常のカウントをします。

- ③ 次の試合(ケガをした後の試合)に女子が出場出来ない場合について

- a) 競技規則第3条の3にあるように「失格」となります。  
b) その場合の点数について、第7条の1から3と同様に相手チームの「16対0」の勝利となります。  
c) 当日に体調不良などで6名になった出場チームで、男子がケガをした場合も同様。  
(当該試合のみ)となります。⇒次の試合5名以下「失格」となります。  
d) 主審による裁定後、両チーム引率者の了承により、親睦試合として試合を行うことができます。

- ④ 予選会・CL(決勝大会)では、諸事情により遅刻した場合、所属チームの第1試合に間に合わなければ全試合に出場することは出来ません。

- ⑤ 施設内には、プール、トレーニングジム等の利用者がいらっしゃいます。利用者の妨げにならないようにお願いします。施設内及び駐車場、近隣公園での準備体操・練習等は出来ません。**ボールは持ち込まないでください。**

- ⑥ 次の試合の選手は、スタッフからの指示に従い集合してください。招集場所は大体育室、大会本部脇にコート名を掲示しますので試合をするコートの張り紙の前に整列してください。

- ⑦ 招集場所に全員集合したら、キャプテンはゲームベストの確認をしてください。



ゲームベストは前半に出場する選手は 1～8番までを、後半に出場する選手は9番以降の番号を着用してください。前後半両方とも同じ番号を着用してください。なお、ゲームベストは全試合が終了するまで返却しないでください。

また、試合開始前にあらかじめ前半に出場する選手、後半に出場する選手、ジャンプボール1名及び外野3名を決めておいてください。(ヒットされ、脱いだゲームベストは自分でカゴに入れること。)試合前・後半開始前に出場選手のチェックを行いますので、間違いの無いように保護者の方はお手伝いをお願いいたします。

⑧ チーム引率者の方は、各試合に最低1名、必ずベンチにお入りください。

なお、ベンチに入れる引率者は最大で2名までとなります。ベンチに入る際は、必ず「ベンチ入り許可証」をお付けください。(受付時にお渡しいたします。)試合終了後に本部までお返しく下さい。

※試合中はベンチに座り応援してください。PTA広報紙等のための撮影はコート外で行ってください。

なお、広報係は1名とします。

⑨ 審判と話が出来るのはベンチに入っている引率者のみとなります。判定に対する抗議や審判への抗議は認めません。試合後のご意見等は必ず引率者が大会本部に来て行ってください。

また、行き過ぎた応援や、特定の選手、審判に対しての暴言等は禁止します。また、大会役員より注意を受ける場合があります。応援マナーの向上にご協力ください。

⑩ 試合進行上、各チームは選手控え席及び所定の場所にて待機させてください。

⑪ 撮影した写真・動画等は個人情報、また肖像権等の観点からインターネット上(SNS・ZOOM 等)に投稿・配信等しないようにしてください。

⑫ ピン止め等は、滑り止め付きのパッチンピン等(材質シリコンも可)を使用してください。不明な点等がございましたらお問い合わせください。

皆様のご協力をお願い致します。

疑問、質問などは下記までお問い合わせください。

なお大会当日につきましては、大会本部にお問い合わせください。

公益財団法人 江東区健康スポーツ公社 江東区スポーツ会館

担 当: 宇木・高取

電 話: 3649-1701

FAX: 3649-3123